

日本栄養士連盟 長崎県支部だより

第8号
発行日：令和5年5月1日
日本栄養士連盟長崎県支部
〒850-0057 長崎市大黒町3-1
長崎交通産業ビル5階 ☎095-822-0932
発行責任者：支部長 日野ゆい子
<http://www.eiyoudenmei.jp/>

◆「連盟活動研修会」開催しました!!

総務研修班



令和5年2月26日(日)、長崎ブリックホールにおいて、連盟の活性化と会員増対策の一つとして、「連盟活動研修会」を開催し、25名の参加がありました。この研修会は、連盟を理解していただくために、本部の「コロナ禍における会員拡充支援金」を活用して開催。日野支部長挨拶の後、山口栄養士会会長のご挨拶をいただき、その後、吉浦栄子先生(九州地区幹事・佐賀県)による「連盟活動の意義とは」の講演と、「長崎県支部の概要」や「福祉施設での栄養マネジメント強化加算の現状」について報告し、情報交換を行いました。山口会長は、栄養士会の会員増対策として行っている養成施設での新卒者への働きかけの模様や、プラチナ研修など継続対策等の紹介があり、「栄養士会員の増加は連盟会員の増加にもつながるのでともに頑張っていこう。」と励ましをいただきました。講演は、とても好評で、アンケートの結果、「管理栄養士の登録制と免許制の違い」や「連盟が、栄養士・管理栄養士の身分や処遇改善のために貢献していることがわかった」など感想が寄せられました。(下記)



【感想】

- 🍓 経験豊かな講師の話は、時がたつのを忘れて聞いた。興味のある内容だった。
- 🍓 栄養士会の歴史と連盟の意義、先輩の努力のおかげで今の栄養士があること等がよく分かった。意見
- 🍓 「免許制と登録制の違い」、「名称使用制限だけで業務制限がない」ことがわかった。
- 🍓 「何事も数は力なり」。栄養士会も連盟も加入者を増やすことが如何に大切かわかった。
- 🍓 「栄養士連盟」と「栄養士議員連盟」の関係や、「長崎県支部の現状」が理解できた。
- 🍓 「連盟だより」は、情報発信として発行していることがわかり、「連盟だより」をしっかり読んでいたら入会するだろうと思った。(どれ位の人が読んでいるだろうか・・・)

- 🍓 参加者に現職の若い会員が少ないのが残念。もっと20代、30代の入会に努めてほしい。
- 🍓 同じ栄養士会会員(会員のための連盟)なのに、栄養士会と連盟の温度差や認識の違いを感じる。
- 🍓 「連盟＝政治」のイメージがあり、身近に感じなかったが、研修会はとても意義があると思った。

◀日本栄養士連盟全国支部長会▶

令和5年3月6～7日 参議院会館において3年ぶりに集合して開催され、日野支部長と中島本部監事が出席。井上幸子連盟会長挨拶の後、中村丁次日本栄養士会長、山東昭子栄養士議員連盟会長の挨拶があり、R4年度活動報告と決算見込み、R5年度活動計画と予算案など、6月の通常総会に向けて意見交換がなされました。会員減が著しく、次年度は各県5%増を目標にすることが示されました。来年度は「コロナ禍における会員拡充支援金」はなくなります。また、各職域の課題等の集約結果が報告され、栄養士会と協議して次年度要望事項としてまとめられます。終了後、情報交換会と九州地区支部長会議、翌日は、国会事務所訪問、栄養士議員連盟総会傍聴と続き、栄養士議員連盟の総会には、本県選出議員をはじめ、加盟の国会議員が多数参加されました。



▲井上連盟会長 ▲中村栄養士会長 ▲山東栄養士議員連盟会長

◆令和5年度予算・税制等に関する要望と回答

令和4年10月25日、日本栄養士連盟と日本栄養士会が、自由民主党に提出した「2023(R5)年度予算・税制等に関する要望」に対し、令和5年3月7日 回答をいただきました。



項目	要望内容	回答
1 東京栄養サミット2021の成果を踏まえ、今後の栄養改善の取組を一層加速化するための組織強化 日本政府コミットメントの現実に合わせた栄養施策の充実強化	(1)東京栄養サミット2021の成果を踏まえ、今後の栄養改善の取組を一層加速化するための組織強化	栄養施策を担っている厚生労働省に、国際的にリーダーシップのとれる組織を強化し(例えば栄養指導室を「省令化」に昇格させる)、国際栄養担当官等を配置してほしい。
	(2)産業振興にも資する産学官等が連携した健康的で持続可能な食環境づくりへの継続的な予算措置	国民の健康寿命の延伸が実現し、持続可能な社会を構築するために、産学官等が連携した取り組みの充実強化と予算措置をお願いしたい。
	(3)次期国民健康づくり運動プランを推進するため、市町村及び都道府県における健康増進部局の行政栄養士の配置強化とともに、福祉部局等への配置促進をお願いしたい。	市町村栄養士の配置は、地方交付税の対象となっている。引き続き行政栄養士の推進体制の強化に取り組んでいく。
2 こども家庭庁と関係省庁との連携体制の強化のために、こども家庭庁に栄養系技官の複数配置	子ども政策の司令塔を担う「こども家庭庁」における栄養系技官の責務は大きく、その業務は増大すると予想されることから、複数配置をお願いしたい。	「こども成育局」「こども支援局」(仮称)を設置するので必要な人員体制を検討していく。
3 令和6年の診療報酬・介護報酬・障害福祉サービス等報酬の改定への支援	診療報酬・介護報酬・障害福祉サービス等報酬の同時改定において、管理栄養士による栄養・食事管理が適正に評価され、さらに充実が図られるよう、ご支援をお願いしたい。	同時改定に関する議題について意見交換を行う中で、「リハ」リハビリ・口腔・栄養も議題とし、関係者の意見をよく聞いていく。
4 第8次医療計画における在宅医療及び医療・介護連携の体制整備の推進	新たな「在宅医療の体制構築に係る指針」において、在宅医療の提供体制(日常の療養生活の支援)として管理栄養士による訪問栄養指導が位置づけられることから、在宅医療に必要な連携を担う拠点(関係機関)として、栄養ケア・ステーションが地域の栄養指導の拠点となるため、体制整備の推進にご支援をお願いしたい。	管理栄養士による訪問栄養食事指導の機能・役割について明確化することになったので引き続き、在宅医療及び医療・介護連携の体制整備の整備に取り組んでいく。
5 学校における食に関する指導、家庭や地域における食育推進の充実のために、学校給食実施校に栄養教諭を配置	栄養教諭でしか果たすことができない役割を明確化し、配置効果等が見える化できる取組を早急に進めるためには、学校給食実施校に栄養教諭の配置が必要。 学校栄養職員の栄養教諭任用替え措置を行い、学校栄養職員と栄養教諭の配置を、児童生徒数に応じた複数配置と共同調理場の定数算定基準を単独給食実施校と同等にさせていただくことを並行して実施されるよう要望します。	文科省では、栄養教諭等の定数の配置基準引き下げなど計画的に改善を図っている。さらに、栄養教諭の配置効果に関する調査を行い、成果を都道府県教委に周知する等、栄養教諭の配置促進に取り組んでいる。引き続き、栄養教諭の意義や役割、配置効果について、都道府県教委などに働きかけていく。



◆栄養士議員連盟加盟国会議員事務所訪問

はじめて本県選出議員の国会事務所を表敬訪問しました。委員会のため、不在もありましたが、名刺交換して日本栄養士連盟を知っていただきました。



▲山本啓介国会事務所にて



▲古賀友一郎国会事務所前

◆栄養士議員連盟の総会を傍聴

3月7日参議院会館において栄養士議員連盟総会があり傍聴しました。加盟議員が多数出席、10月提出の栄養関連予算要望について、厚労省や文科省から政策説明があり、栄養問題について質疑が行われました。席上、自民党から連盟井上会長に回答書が手渡され、栄養士議員連盟の重要性がわかりました。



▲自見はなこ議員
▲加藤竜祥議員



【編集後記】▼「つける、つけない、あなたが決める。」新型コロナウイルス感染症が蔓延して丸3年。5月から類型が見直され、マスク着用の考え方も緩和されました🍓▼連盟活動研修会が盛会でした\(^o^)/。「入会や研修会参加に若い人が少ない」との指摘もありました。▼「はいる、はいらぬ、あなたが決める」。振込しやすいように銀行口座も設けました👉。連盟だよりで情報を発信します。ご覧いただき、皆さんの入会をお待ちしています。(編集広報班 中島ふさ、山崎千晶、鶴瀬彩夏)